

城屋の揚松明

城屋地区の伝統行事で府登録文化財、市指定文化財の「城屋の揚松明」が8月14日に雨引神社で行われた。女布の城主が山中で娘を飲み込んだ大蛇を退治し、神社



に奉ったという地元の伝説が基となっており、水を司るといわれていた蛇を鎮める雨乞いの行事。当日は地元を出た青年たちも帰ってくる。地区出身の「城屋青年会」の若者が力いっぱい太鼓をたたき、神社前を流れる高野川で身を清める。高さ約16mの大松明を大蛇に見立て、火を付けた小松明を持った若者たちが大松明をぐるりと囲み、一斉に投げ入れる。放物線を描いた小松明がのり、着火すると大松明は火の粉を散らして燃え盛り、辺りは火で明るく照らされる。最後は燃え盛る大松明を若者たちが手綱を引き川側へ引き倒す。
見ていた住民や帰省者など観客からは歓声が上がリ、城屋地区で守り続けられている夏の神事は無事、今年も終わった。

